

名寄の水産加工拠点化に向けた 検討等について

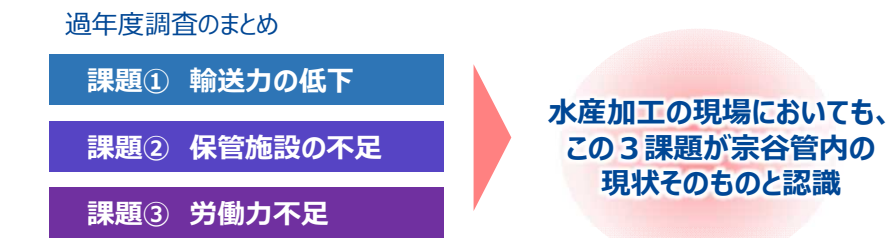


事務局からの情報提供

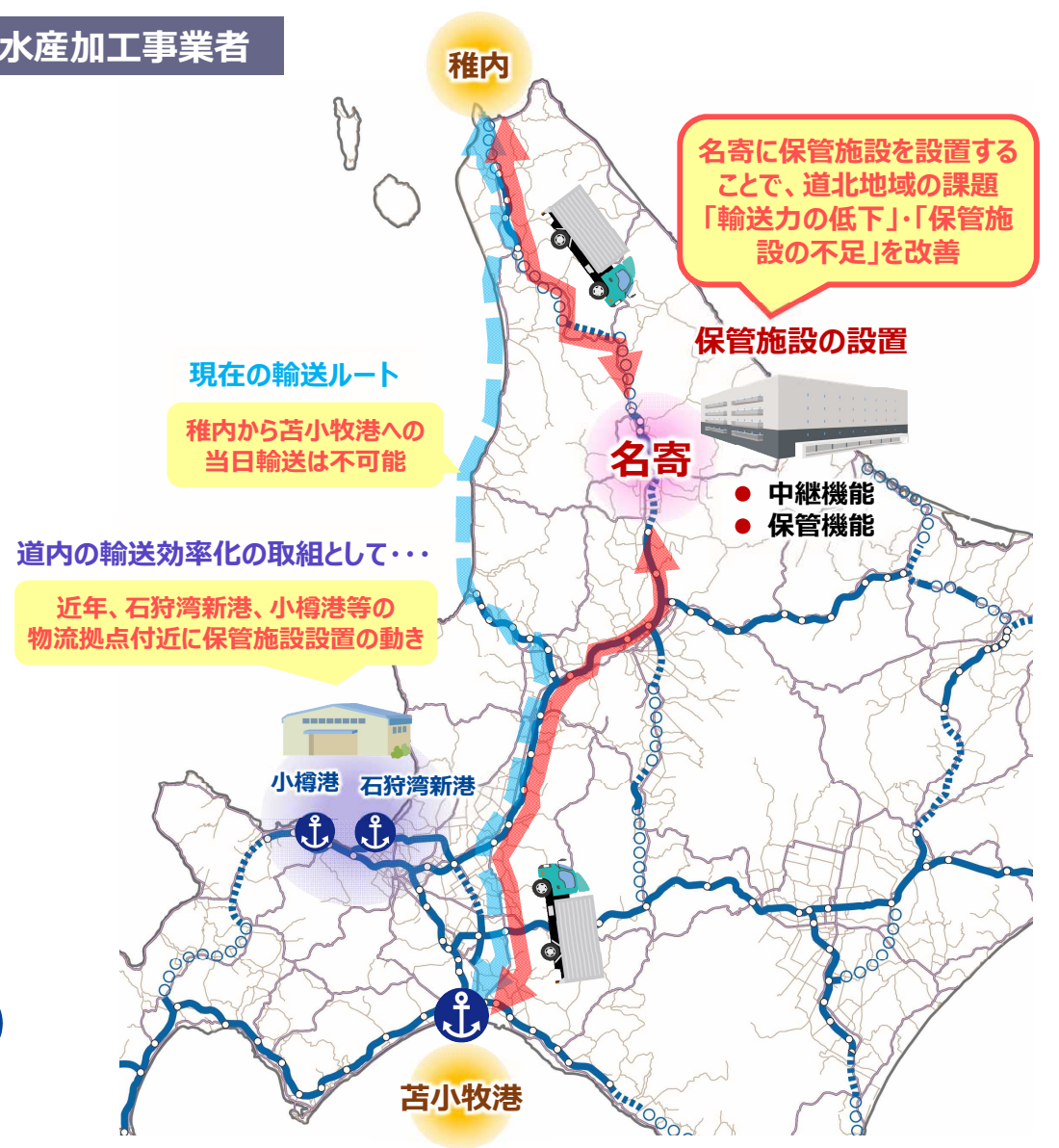
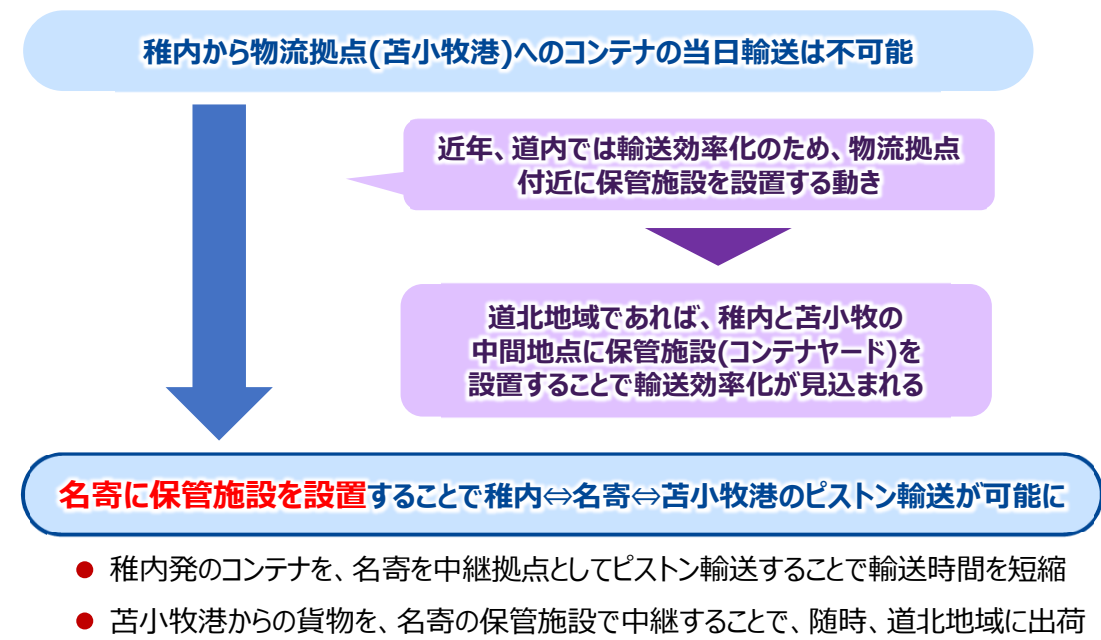
名寄の水産加工拠点化に向けた検討等について

宗谷・オホーツクの水産生産空間と名寄との地域間連携： 稚内の水産加工事業者

■ 道北地域の生産空間の維持・発展における課題



■ 輸送力の低下・保管施設の低下の問題に対応する「名寄の中継拠点化」の検討



資料：稚内水産加工事業者、名寄市ヒアリング

事務局からの情報提供

名寄の水産加工拠点化に向けた検討等について

宗谷・オホーツクの水産生産空間と名寄との地域間連携： 稚内の水産加工事業者

■ 輸送力の低下・労働力不足の問題に対応する「名寄への水産加工場建設」の検討

立地面における名寄のポテンシャル

過去に水産加工の実績

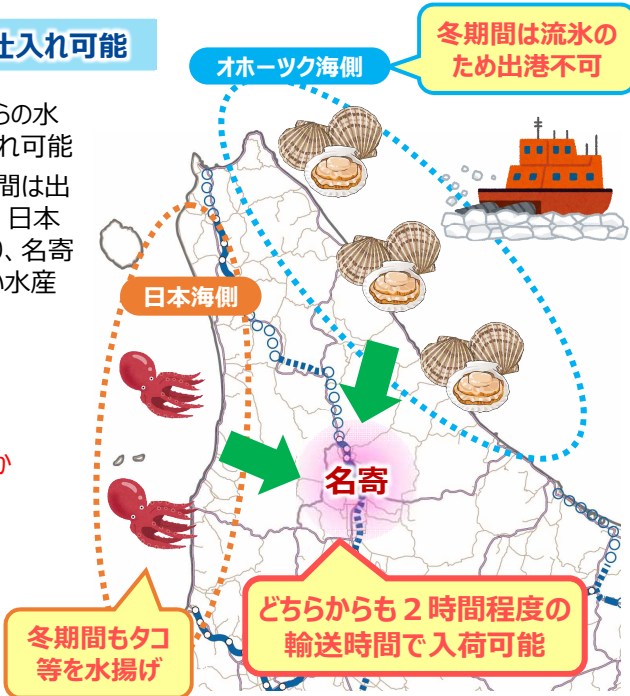
- かつては交通の要衝として栄え、太平洋・日本海沿岸の水産物を加工
- ホタテの玉冷加工実績もあるが、採算が取れず、現在は未実施
- ▶ **現在は、ロジスティクス技術の向上、ホタテの輸出拡大による収益化の進行などから、より高い成果が期待**

オホーツク海側・日本海側両方からの仕入れ可能

- 名寄は、オホーツク海側・日本海側、どちらの水産物も、2時間程度の輸送時間で仕入れ可能
- オホーツク海の流氷接岸地域では、冬期間は出港できず、原材料の確保が課題となるが、日本海側では通年でタコ等が水揚げされており、名寄でなら、原材料入荷の季節変動が少ない水産加工が可能

立地面の課題・留意点

- 水産系残滓処理施設をどのようにするのか
- 販売方法を踏まえた水産加工場の建設（対HACCP施設にするなど）が必要



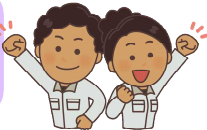
資料：稚内水産加工事業者、名寄市ヒアリング

人材確保における名寄のポテンシャル

宗谷の水産加工場では・・・

ホタテの加工は手作業に頼るところが大きく、人材確保は非常に重要

法改正により、外国人労働者を雇用しやすくなったことから、人材不足を外国人労働者で補っていたが、コロナにより打撃



名寄では、近隣の市町村を含め、幅広い人材の確保が可能

- ホタテの加工人材を確保するにあたっては、**特に年齢制限等は必要なく**、元気であれば、年齢性別を問わず終業が可能
- 名寄には公務員や民間企業勤務の人が多く、その配偶者の主婦層をはじめ、元気な高齢者や名寄市立大学の学生等、幅広い人材の確保が見込まれる



名寄市総合福祉センター



※名寄市HP掲載画像

- 名寄の障がい者就業・生活支援センターとの連携により、障がい者の雇用拡大に貢献
- フィールドワークの一環として名寄市立大学社会福祉学科の学生受け入れを検討する等、水産加工場の建設により、**地域との連携・貢献**が見込まれる

名寄の水産加工拠点化に向けた検討等について

宗谷・オホーツクの水産生産空間と名寄との地域間連携： 稚内の水産加工事業者

■ 宗谷・オホーツク地域と名寄の地域間連携

官民一体となった水産加工場の建設

- 内陸部の建設関連事業者には、水産加工場の建設スキルが十分ではないと思われるため、オホーツク管内の建設関連事業者の協力が必要
- 行政、地元の経済界等、官民一体となった水産加工場の建設に期待
- 名寄に加工場ができれば、釧路や網走でへは長距離で出荷できない宗谷管内の漁協も関心を持つ可能性も

ふるさと納税返礼品への活用による地域活性化

- 名寄では現在、枝幸町のふるさと納税の返礼品を、名寄を拠点として、梱包、配送などを行い、全国各地に配送するという取り組みを検討
- 名寄の水産加工場で加工された水産加工品を出品すれば、「海のない都市の水産加工場の水産加工品」として注目を集める可能性
- ふるさと納税を成功させ、事業費を賄うことができれば、理想

■ 地域間連携・水産加工場の建設に向けての課題

物流拠点化、保管施設の建設などは、民間企業では負担が大きく、行政支援が必要

宗谷管外の水産加工会社は、管内の漁協から、直接、ホタテを仕入れることができない

 名寄に水産加工場を建設するうえでも、ふるさと納税の返礼品の配送拠点とするうえでも、稚内-名寄間のミッシングリンクを解消する、国道40号の高規格道路整備が重要